

事後調査の結果

調査項目	騒音
予測した事項	建設機械の稼働に伴う建設作業騒音

1. 調査地域

事業区間のうち工事を実施した区域とした。(図 1-1 参照)

2. 調査方法

(1) 調査時点

舗装工事において建設機械の稼働が最大となる期間の代表的な 1 日とした。調査日を表 1-1 に示す。

表 1-1 調査期間 (騒音)

工区	工種	作業内容	調査日時	調査地点
一般部	土工	舗装版とりこわし	令和元年 5月18日 (土) 7:00~19:00	No. 1
	舗装工	舗装工 (敷均し・転圧)		
	土工	舗装版とりこわし	令和元年 6月11日 (火) 7:00~19:00	No. 2
	舗装工	舗装工 (敷均し・転圧)		

(2) 調査地点

事業区間の敷地境界線上の地点とし、測定高さは地上 1.2m とした。

(図 1-1、図 1-2 (1) ~ (2) 参照)

(3) 調査方法

① 予測した事項 (建設機械の稼働に伴う建設作業騒音)

測定方法は、JIS C 1509 に適合する普通騒音計を用いて、「環境確保条例」に定められている「指定建設作業に適用する勧告基準」及び「環境騒音の表示・測定方法」(JIS Z 8731) に準拠して実施した。

測定時間は、建設機械が稼働している時間帯とし、1 時間毎の最大となる 10 分間をその時間の測定値とした。対象工事が施工されていない場合 (工事開始前及び終了後、または昼休みに該当する時間帯は除く) にも同様の測定値とした。

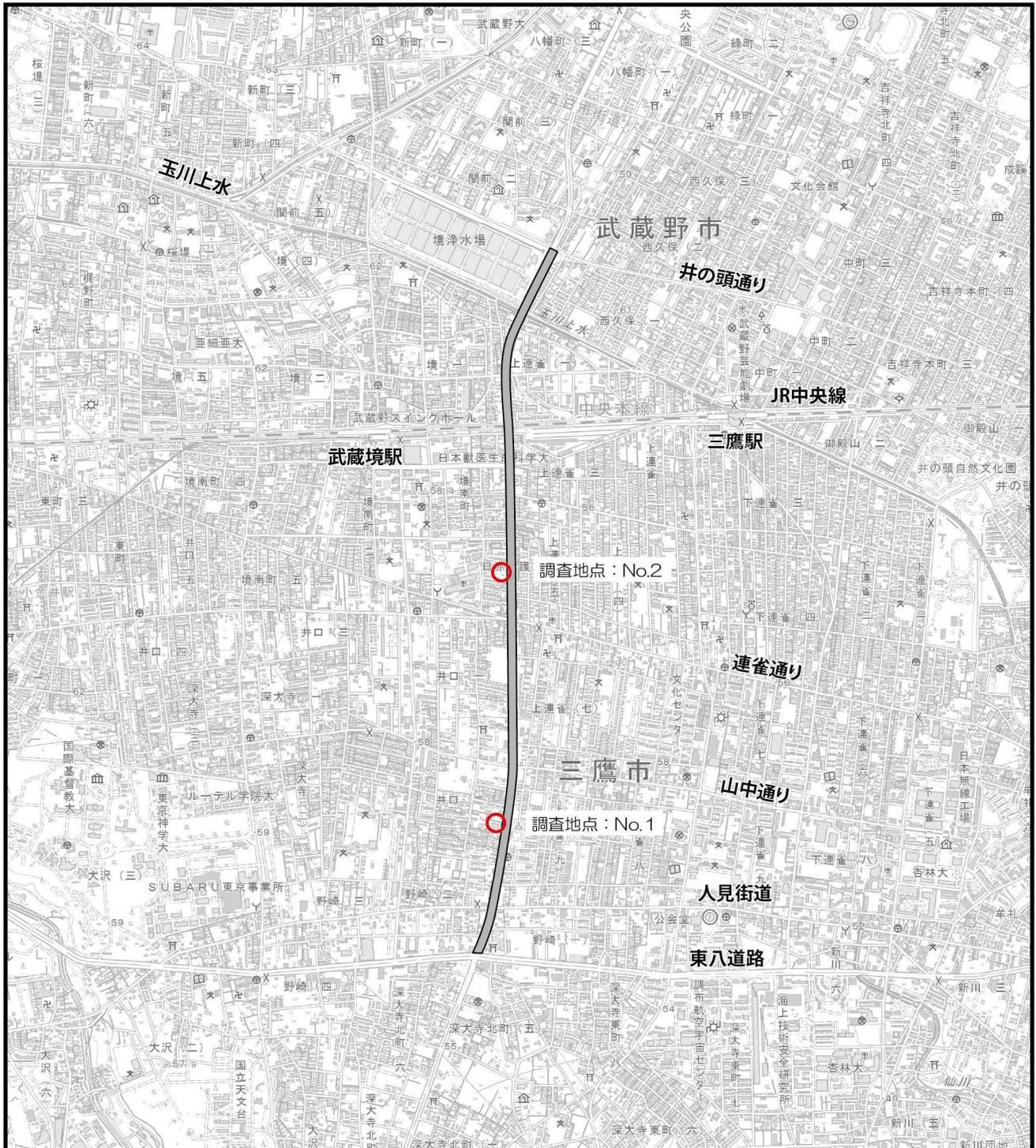
測定結果の整理は、作業時に騒音の指示値が不規則かつ大幅に変動したために測定値の 90%レンジの上端値 (L_{A5}) として整理した。

② 予測条件の状況 (建設機械の稼働状況)

現地調査及び関連資料の確認により行った。

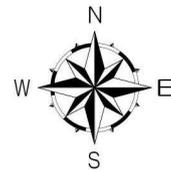
③ 環境保全のための措置の実施状況

現地調査及び関連資料の確認により行った。

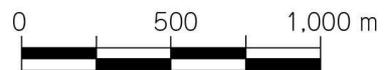


[凡例]

-  事業区域
-  騒音・振動調査位置



1:25,000



備考：この地図は、国土地理院発行の電子地形図 25000 に、凡例に示す内容及び名称等を追記したものである。

図 1-1 騒音・振動調査位置図